

目 次

I. 総括研究報告書

地域のストレングスを活かした精神保健医療改革プロセスの明確化に関する研究 研究代表者 竹島 正	1
--	---

II. 分担研究報告書

1. 地域のストレングスを活かした精神保健医療改革達成における情報共有と対話促進に関する研究	
(1) 神奈川エリアにおける精神保健医療の可視化と情報共有	7
竹島 正、高橋 邦彦、立森 久照、菅 知絵美、明田久美子、伊藤 真人、川副 泰成、小池 尚志、斎藤 庸男、穴倉 久里江、白川 教人、竹内 知夫、武田龍太郎、野口慶太郎、山田 敦、山田 正夫、岡村 毅、熊倉 陽介、後藤 基行、笹井 康典、中村 江理、山之内 芳雄	
(2) 精神病床数と23条通報の関連からみた地域精神医療における unmet needs	23
竹島 正、小池 純子、立森 久照、菅 知絵美	
(3) 都道府県または政令指定都市レベルの精神保健医療の課題についての率直な対話の場に関する調査	29
竹島 正、菅 知絵美、立森 久照	
2. 地域のストレングスを活かした精神保健医療改革に資する資料の作成	43
立森 久照、白田 謙太郎、後藤 基行、菅 知絵美、加藤 直広、西 大輔、竹島 正	
3. 患者調査統計を用いた精神保健医療改革達成プロセスモデルの開発に関する研究	57
山之内芳雄	
4. 自立支援医療に関する研究	63
岩谷 力、我澤 賢之、竹島 正	
5. 入院患者の権利擁護に関する研究	71
河崎 建人、平田 豊明、浅井 邦彦、東 司、岡崎 伸郎、鴻巣 泰治、田辺 等、千葉 潜、中島 豊爾、永野 貫太郎、松浦 玲子、松原 三郎、松村 英幸、三木恵美子、山下 俊幸、八尋 光秀、吉澤 雅子、四方田 清	
【研究協力報告書】	81
ICD-11の動向	
丸田 敏雅、松本ちひろ	
研究班名簿	83

